

6年	特に育成したい能力や態度 (具体的な数字や言葉で記載する) 2～3にしぼる。	授業改善の視点と具体的な方策 (具体的に達成すべき数値目標を記載する) 左側のものとリンク【対応させる】	達成率【割合】 A・・・90%以上の児童 B・・・90～80%の児童 C・・・80～70%の児童 D・・・70%以下の児童
国語	① 話す・聞く力を高め、すすんで話したり聞いたりできる児童を育成する。 ② 語彙を増やし、文章を書く場面や対話の場面に生かせるようにする。 ③ 自分の考えや思いを言葉に表し、伝える相手のことを考えながら表現しようとする力を育成する。	① 具体的な話し方や聞き方、話し合いの進め方のモデルを示す。自分の考えをもつ時間を確保し、児童の主体的な態度や取り組みを認め、よい点を褒め、全体に広げる。(達成率 80%) ② 読書の時間を確保することや、意味調べ・季節の言葉集め等、語彙を増やす機会を作る。(達成率 80%) ③ 自分の考えを記述する場面を設定し、教師の文章を参考にさせ、書くことに慣れさせる。意見文などの文章構成のパターンなどをつかませ、文末表現などを工夫するよう指導する。(達成率 70%)	(成果)まだまだ語彙が足りないものの、自分の意見を持つ時間を確保することで話し合いは活発になった。文章を書く際にはモデルを示すことで書けることが増えた。 (達成率B) (課題)引き続き語彙を増やし、情緒をより細かく表現できるようになっていくことが必要。
社会	① 情報を適切に調べ、まとめる能力を身に付けさせる。 ② 資料を活用し、気付いたことを自分の言葉で説明できるようになる。	① 写真や地図等の資料を読み取らせる機会を多くもたせたり、友達と考えを交流したりする場面を設定する。個人用端末を活用し、その日の学びや調べた内容をまとめる活動を多く行う。(達成率 80%) ② グループ学習やペア学習を取り入れ、全員が自分の考えを発言できる 機会を設ける。自分の考えを述べるのが難しい児童に対しては、疑問点を挙げ、それについて話し合う活動にすることで、対話的な学びの場を作る。(達成率 70%)	【成果】 日常の事象と関連付け、動画等視覚教材を用いたことによって理解は深まっていった。(達成率B) 【課題】 交流や説明の場面では、児童間のスキルの差がある。話し合う際には議題を焦点化させる必要がある。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 様々な図形の面積を求めることができる。 平均、混み具合、速さなど、問題文から数直線や図から立式し、正しく答えを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な面積の公式を正確に理解できていないため、授業導入時や日頃の主題で基本的な図形の面積を求める問題に取り組む。東京ベーシックドリル、ミニプリント、デジタルドリルを活用し、定着を図る。基本的な公式の掲示を作成する。 【2学期末までに、達成率90%を目指す。】 既習事項を用いて解く問題も多いが、具体物を提示したり大型モニターを活用したりすることで、問題文の全体から必要な数字や言葉を捉えることができるようにする。また、考え方を数直線や図で表し、立式できるようにする。立式の手立てとなる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題克服を意識できた児童については、様々な取り組みを通して計算能力の向上が見られた。自分の課題を藤橋チャレンジの結果などからより意識化させて、様々な反復練習に取り組ませることが必要。(達成率 D) 用語や公式について、ただの暗記ではなく、なぜそのような表現になるのか

		<p>ヒント図を作成し、提示する。</p> <p>【2学期末までに、達成率90%を目指す。】</p>	<p>を考えることができるようになった児童については、忘れていても考えを組み合わせる思い出すということがスムーズにできるようになった。</p> <p>(達成率C)</p> <p>今後とも自分の考えを図に表し少しずつ組み合わせる課題解決していくという授業の実践で、算数的思考力を高めていく必要がある。</p>
理科	<p>① 予想を立て、実験を経て分かったことを理解する力を身に付けさせる。</p> <p>② 身の回りの事象に疑問を見出し、課題を解決する力を養う。</p> <p>③ 安全な器具の使い方を学び、実践する。</p>	<p>① 予想を立てる際は、互いの意見を交流させる。また、結論や考察では、学習内容と身の回りの事象とを関連付けて書かせ、知識として定着できるようにする。観察や実験をどのような目的で行うのか、目的意識をしっかりとらせ、観察や実験に臨ませる。(達成率80%)</p> <p>② 全体での交流場面や、友達との交流場面を設定することや、個別に対応する中で言葉を引き出すことで、説明の仕方を身に付ける。(達成率80%)</p> <p>③ 動画教材による視覚的な理解と説明と実演による実際の使用法の理解を進める。(達成率100%)</p>	<p>【成果】自分なりに調べた内容と授業の内容を結び付けることにより、学習への理解は深まり次回への意欲となっていた。(達成率B)</p> <p>【課題】学習したことを説明することは課題がある。実験の目的・結果・考察の順を追って説明できるように表現力を高めていく必要がある。</p>
道徳	<p>① 自分自身の行動を振り返りながらよりよい生活につなげていこうとする、実践意欲と態度を育てる。</p> <p>② 教材を通して自分の考えを表現し、友達と交流することを通して、考えを広げたり深めたりできるようにする。</p>	<p>① 児童の体験したことや振り返りを具体例として話し合いに生かし、学習したことを日常生活の実践につなげている場面を認める。日常生活でも学習内容を想起させ、友達のよさを見付けながら、よりよい人間関係を築き、生活態度を改善していけるよう促す。</p> <p>② 自分の考えをもつ、書く、友達と交流する時間を十分に確保する。書くことが難しい児童には、教師が問い返したり、キーワードを示したりするなどして、表現する力を養う。</p>	<p>【成果】学習から自分自身を振り返ることができる児童が増えた。意見交流から、考えを広げられる児童が増えた。(達成率B)</p> <p>【課題】実生活に直接つなげていこうとする意識が低い児童もいる。</p>